



忘年会全員写真

チャンプニュースレター109号 目次

○山本代表のメッセージ	2
○アメリカよもやま話	山本儀子 3~4
○チャンプ忘年会	4
○宮尾賢さんの墓参	4
○関西支部12月例会報告	加納義久 5~6
○第4回「本音の会」	神田 順 6
○第7回「チャンプ散策の会」	中林由行 7
○第1回「これからの暮らしを考える会」	山田信子 7
○活動会メモ	8
○2025年度決算報告・2026年度予算	8
○第1回「日本をしてみる会」のご案内	8
○今後の活動予定	8

本号の「アメリカよもやま話」では、昨年11月24日（月）から12月7日（日）まで休暇を過ごしたハワイでのお話をしたいと思います。50年近くカリフォルニア州Los Angelesをベースに住宅開発の情報会社を運営してきた山本の生まれて初めての長い2週間バケーション（ハワイ島で5日半、オアフ7日半）でした。ハワイでの新たな発見「よもやま話」をお伝えします。ハワイ島訪問は20年振りでしたが、ハワイの歴史を学び直す旅でもありました。

ハワイ島のお話：The Big Island of Hawaii

ハワイ諸島は132島から形成されていますが、私達が知る主な島は8島（カウアイ・ニイハウ・オアフ・モロカイ・ラナイ・マウイ・カホオラウェ・ハワイ島）です。ハワイ島がBig Islandと呼ばれるのはその広さが全諸島を併せた面積の62%占めるからですが、人口はハワイ州全体の14%（20万人）です。ところでここで話をする数々の発見は、ツアー11/26（水）のガイド関口さんの豊富な知識と細やかな配慮によるところが大きい。ガイド歴13年、33才の関口さんはハワイを語る時に二人の恩人を決して忘れてはならない、と話してくれました。

①カメハメハ大王：

ハワイ島で生まれ、1810年にハワイ諸島を統一した初代国王です。カ・メハメハとは「孤独な人」とか「静かな人」という意味があるそうですが、統率力と外交に優れた人物で他国からの侵略を許さず、ハワイ諸島の独立を守り、今も継承されている自然保護に尽力した人だったとのこと。ハワイ諸島の3カ所にある銅像の1つはホノルルに次ぐ大都市ハワイ島東沿岸のヒロ（日系移民が開発に貢献）に立っています。後述のマウナケア山のきれいな星空はカメハメハ大王の自然保護の成果に他ならない、とのこと。



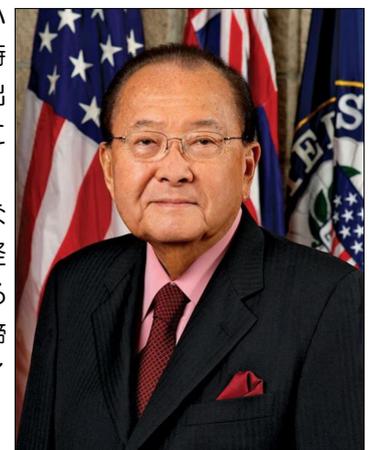
②ダニエル・ケン・イノウエ：（日本名：井上 建）アメリカ合衆国政治家

1924年9月7日ホノルル生まれ、2012年12月17日（88才没）

ハワイを訪れた方はきっと「ダニエル・イノウエ」という名前には聞き覚えがあることでしょう。2017年4月17日以来オアフ島ホノルル国際空港はダニエル・ケン・イノウエ国際空港と改名されています。ハワイ出身初の日系上院議員として、1963年からイノウエ氏は50年近く連邦議会上院議員として在任。同氏の人生は第二次世界大戦（太平洋戦争）とその後の数々の政治的功績なくしては語れません。日本が真珠湾攻撃を遂行した1941年（昭和16年）12月8日（米国12/07）、ダニエル・イノウエは17才でした。この報道はハワイ生まれの若い日系二世達にとって衝撃的なものだったそうです。

<第442連隊での活躍>

アメリカ生まれでありながら、それまで何かと差別を受ける日々だったようですが、ハワイ生まれの日系二世達はこの時こそ自分達のアメリカ合衆国に対する忠誠心を示す時だと1943年2月の軍募集に4,500人ももの日系二世（2/3がハワイ・1/3が米国本土出身）が応募したとのこと。1年有余の訓練を受けた後、彼らは第442連隊戦闘団に配属され、ドイツとの闘いが熾烈な時期であったヨーロッパ前線に派遣されました。1944年10月にフランスのポーシュ山脈に閉じ込められたテキサス隊211名を救助など数々の功績を上げ、1945年4月にはイタリアでの戦線でイノウエは右腕を無くす怪我を負い、後送されてミシガン州バトルクリーク陸軍病院で1年以上の入院生活を送ることになりました。多くの勲章を授与したとは言え、当初目指していた医学への道を諦めて、ジョージワシントン大学の法学部を卒業、1953年法務博士、1954年にハワイ議会の議員、1959年ハワイの連邦下院議員、1963年には上院議員に当選しました。



<上院議員時代の政策>

数々の米国議会での功績の内、第2次世界大戦による強制収容所に伴う財産の没収に関して、イノウエは「戦時補償法の制定」などに尽力する傍ら、1973年にはウォーターゲート事件、1987年にはイラン・コントラ事件の上院調査特別委員長となり注目されました。ハワイの人々がダニエル・イノウエ氏を崇敬していることが明白に判る数々の功績を残したのです。

<キラウエア火山とマウナケア山の星空>

世界遺産キラウエア火山は格別な経験でした。地元の人によると、2018年9月の大噴火以来大体2週間毎に小噴火があるそうです。私達のツアー前日11/25(火)にも噴火したそうで、ツアー当日にはまだ小さな噴火が残っていました。2018年前までは火口深さが400m以上あったのが、同年噴火後には200mまでに浅くなったそうです。火口の中は約2kmほどの大きさでした。

その後、マウナケア山麓に移動、お弁当夕食を済ませていよいよ星空観賞：実は私は今からほぼ60年程も前に、南カリフォルニアのKern川というキャンプ場に連れて行ってもらう機会があり、その時のテントから見た星空が素晴らしく、これ以上の星空は無いであろうと高をくくっていました。ところがどうでしょう！マウナケア山麓(標高約2,800m)からの星空はとても鮮明で、プラネタリウムで見上げているように空全体が見えたのです。もっと驚いたのは、その時ガイドの関口さんが超強力のリザーポインターで、それぞれの星座を囲って説明してくれたことです。はっきりと見える星座はまことに圧巻でした。という次第で、ハワイ島では新発見の連続でした。



チャンプ忘年会 12月20日

日時：2025年12月20日(土) 11:30~14:00 会場：イタリアン「田園調布倶楽部」(大田区)
26名の参加で開催されました。安斉運営委員長の開会の辞の後、山本代表の挨拶がありました。続いてコーラス部の

13人が1年間のコーラス練習の成果を披露しました。曲は「夢の世界」「BELIEVE」「いのちの歌」最後に会場の皆さんと一緒に「クリスマスソングメドレー」を合唱しました。部員は赤い帽子やトナカイ帽などをかぶり、シングルベルでは鈴などの鳴り物も入れて盛り上がりました。その後、皆で乾杯をして飲み放題付きイタリアンのフルコースを堪能し、楽しく歓談することができました。(表紙写真参照)



宮尾 賢さんの墓参 12月15日

12月15日(月)にチャンプの有志で宮尾賢さんのお墓参りをしました。宮尾さんは丁度1年前の12月2日に亡くなられたのですが諸般の事情で納骨が遅れたため墓参がこの時期になりました。お寺は西新宿の常圓寺で新宿の超高層群のすぐ脇ですが600年以上の歴史のある日蓮宗の古刹ということです。当日は山本代表、安斉委員長をはじめとして13名が参加し、

宮尾家のお墓にお花やお線香を手向け、順番に合掌しました。その後、近くの新宿センタービル別館のレストラン「音音(おんおん)」で「宮尾さんを偲ぶ昼食会」となりました。チャンプの最大の功労者であった故人の思い出話はつきませんでしたがお開きとなりました。

宮尾賢さんのご冥福を祈ります。



関西支部 12月例会報告

加納義久

日時：2025年12月11日（木）17：30～20：00

会場：神戸港第一突堤入口 ラ・テラスホール神戸

参加者：代表：山本儀子さん、支部長：木下正二郎さん、浅野静さん、北沢一記さん、岡田優さん、辻嘉和さん、前田潤さん、前田龍彦さん、藤原千恵さん、沖正穂さん、加納義久

幹事：増井孝子さん 以上12人です

17：30 木下支部長の挨拶、乾杯の音頭につづき

■山本代表からの「アメリカよもやま話」

①まずトランプ大統領は不支持53%と（支持率43%）と、不支持が多いと言う現状です。高い関税のために物価高を呼び、それが経済に悪影響を及ぼしていると考えられますが、未だ経済は減速には至っていないため、所得格差の拡大・アメリカの国力が低下・マスメディアの弾圧をしているトランプ大統領ですが、ニューヨークタイムズを読まない労働者層に支えられているため来年の中間選挙まで人気がどうなるかは分かりません。

②ハワイで2週間のバケーションを過ごしました。キラウエア火山の噴火口は巨大で、5km×4kmの噴火口、深さ400mその後200mに縮小しましたが、10日ごとに噴火を繰り返しています。恐怖を感じます。また、高度4000m程度のマウナケアの星空観察では、まるでプラネタリウムのように満天の星とその説明に特殊なレーザーポインターを使った星座の説明に感激しました。

③カメハメハ大王とならびハワイで最も尊敬されている、日系のダニエル・ケイ・イノウエ氏（1924生れ、88歳で没）の生涯を知って感動した。17歳で真珠湾攻撃に失望するが、軍に志願しヨーロッパ戦線でドイツと戦い右腕を失う。除隊後弁護士を経て上院議員を50年間務めた。ホノルル国際空港がダニエル・ケイ・イノウエ空港として改名された。

アメリカが好きだったが、トランプ政権下で、マスメディアへの弾圧、世論の分断、国力の低下など米国の先行きが心配です。間違った情報に惑わされないように。

■出席者からの話題提供・近況など

○数年前から肩の痛みに悩んでいたが、肩の専門医の診断で4ヶ月間のリハビリ治療の結果ほぼ元通りに治り、プールで泳げるようになった。肩の腱板断裂は通常手術をして直す事が多いようだが、幸いそこまで至っていなかったため、病院でのリハビリと自宅での運動で直すことができた。

○不整脈を診断してもらった結果「心房細動」が原

因であることが分かり、カテーテルで心房内の一部を高周波の電流で焼き切る事から心房細動を抑制する治療を行った。ほぼ完治したか今後の経過を見ていく。

○3Dプリンターを購入し、立体的なモノを気の向くまま何でも制作している。撮影したモノがそのまま彫刻のように作品にできるので夢は果てしなく広がっている。

○ヴォーリズの設計で有名な神戸女学院大学の建物を見学した。構内すべての建築群の調和が素晴らしく、2014年に重要文化財に指定された。当時は設置されていなかった空調設備設置などで苦労したようだ。

○ゴルフと謡いで生活を楽しんでいる。ゴルフは90数回/年、毎週2回のペースなので（15000歩/1ラウンド）、健康維持の運動は十分と思う

○仕事一筋の毎日である。文化財に近いような木造建築物の改修、リフォームが多いのでいろいろな工夫をしているとのこと。— これに対しDIYでの茶室の障子張り替えの質問があったが、ホームセンターで販売している樹脂素材入りの障子紙を細い棧の上でつなぐのは難しいようです。

○80代後半になり話を聞き取りにくくなり、ドイツ製の補聴器を購入したが使いづらい。たとえば加湿器と発音して「シ」と「キ」が聞き分けられない。上り坂がづらくなった。

○毎週パソコン教室、絵の教室、クロッキー、月一回かな習字を教えている。

○二十年以上続いた、森ビルの社外取締役をようやく引退させてもらえる事になった。その他の仕事も70歳代の内に引くつもりである。退職後ヨットで日本一周が楽しみ。面白い話題として、私の会社を買い取りたいというベトナム企業からの打診があった。日本の医療のアクセスライセンスがほしかったらしいが、断った。

○地震が多発しているが、超高層建築が増え大震災で日本が大変なことになるかと心配している。これに対して、神様がそんな間近に壊滅的なことはなさらないのではないかとの意見があり、神戸の大震災では災害後5年くらいでおおよそ復興の目処がついた。現在は以前より立派な



都市に生まれ変わり、災害に立ち向かい前向きに取り組む日本人は強いと思う。

○建築完成後、増築するなどの違反建築が多い。危険な建築に対して建築関係法規と消防法とをにらんで最小限の安全策で問題を片付けることが多い。

○最近ポットキャストを始めた。聞く側はインターネット経由で配信する音声番組をスマホやPCで手軽に聞くことができる。ウエルビーイングに関しても発信している

以上で近況報告をおえ、次回の開催を山本代表の提案や全員の日程調整により、来春3月18日、17:30から京都にて開催、幹事を京都在住メンバーと決めた。最期に、写真撮影は神戸港を一望する3階の会場続きの戶外バルコニーでポートタワーや観覧車などきらめく

港の光景を背景にしました。



第4回 本音の会 報告 神田 順

11月21日（金）15時から17時まで、お茶の水のA-Forumをお借りして、第4回「新・日本の現状を本音で語る会」を開催しました。今回のテーマは「空き家問題」。神田の基調報告をもとに、10名の参加により、活発な語る会となりました。

神田からはメモをもとに、1. 現状の実態としては、人口減社会で空き家が1000万戸を超えて増え続けていること、2. 法律の対応では、2014年に空き家等対策の推進に関する特別措置法が制定されたものどこまで機能しているか、3. 活用事例としては、古民家再生プロジェクトや空き家バンクなど、4. 自治体ができること、すべきことでは、空き家が増え続けているのに住宅新築が止まらないことが放置されているなど、気になることについて口火を切って紹介した。

手島からは、まず、民法上の所有権（私有財産権）が強すぎるとの声が上がった。

山本は、かねてより地震が怖いので東京には住まいと思っていたところ、日高の地によさそうな場所を見つけ住んでいる状況を語る。1500戸のうち15%~20%が空き家になっているが、空き家15軒のうち2軒は子供世代でも住む様子はない。これからますます空き家の割合が増える状況で、法的な対応が必要だという。

23区内でも空き家は増えているものの、地方と郊外、都心ということで状況はずいぶん異なっている。都心では空き地が出ると、業者に買われてワンルーム・アパートなどになり、緑地は減り、コミュニティが形成されなくなっている問題につながっている。地方や郊外では、シニア・ホームなど、数人で住むということで住み続けられる状況への解決策もある。

中林からは、東京都では空き家活用を中心とした「アフーダブル住宅の供給」という政策が動き始めていることの紹介があった。民間による住宅提供の形を取っているが、市場賃料の6割で住むことができるという。一方で、都心はタワーマンションが経済的に回るので、まだまだ建ち

続けている。投資利回りとしても良いので、外国人の投資が多い。これも法規制を必要とするとは、梅沢の言葉。土地収用というものもありうる。土地を外国人が所有することについては、何等かの規制が必要との声は、波田野からも。山本は、ブルックリンはすでに半分が中国人の所有、波田野は、芦屋も韓国人が多くなっていると。國安は、山形の友人は、田んぼが中国人のものになっているとの話も。

山本からは、アメリカが変わってしまったことを振り返りつつ、共産主義、社会主義への拒否反応があるが、社会性を保つことはとても大切との発言。高橋は、町会長を務めていることを踏まえて、コミュニティの喪失が問題の本質にあると指摘すると、山本は個人意識が、アメリカより日本の方が強いと感じると言い、1500人ほどのコミュニティをまとめるか、とまで発展した。

山田は、マンションの理事長の経験から、住んでいない上階の水の事故で大変な思いをしたことを紹介し、教育の問題にも帰結する。子供たちに空き家問題をどうすれば良いか教育の題材に良いかもしれないと。

次回は、来年2月6日（金）13時から15時まで。テーマは、「企業はなぜ基準をまもらないか」話題提供は、波田野と梅沢の予定です。

（写真は会の終了後、早めの忘年会をケータリングで）



第7回 チャンプ散策の会

11月18日（火）

日時： 11月18日（火）10時JR両国駅東口 スタート
行程： すみだ北斎美術館⇒都立横網町公園⇒旧安田庭園
⇒ちゃんこ霧島（ランチ懇親会）

参加者：15名（参加費4千円）

幹事： 手島達夫、内藤尚、中林由行

今回は両国駅周辺を散策する会を催行したが、天候に恵まれ楽しい会となった。JR両国駅を10人でスタートし大江戸線両国駅で5人のメンバーと合流して10分ほど歩いて「すみだ北斎美術館」に到着。不思議なデザインの建物だが建築界のノーベル賞といわれる「ブリッカー賞」を受けた女性建築家・妹島和代（せじまかずよ）の設計。中に入り、特別展「北斎をめぐる美人画の系譜・名手達の競演」を約1時間鑑賞した。葛飾北斎、葛飾応為（北斎の娘）、喜多川歌麿、鈴木春信、勝川春章などの作品が展示されていたが、美人画は皆八頭身で当時からそれが理想像だったということか。顔は皆同じようではないが着物の絵柄は多様で精細に描かれていて素晴らしい。主たる展示は錦絵（浮世絵の中で「多色刷り木版画」をいう）であるが、その絵柄と色の精細さには驚かされる。当時の彫り師や摺り師の技術は世界一だったようだ。有名な北斎の富嶽36景の中の「神奈川沖浪裏」（錦絵）の制作過程の図解なども興味深かった。

美術館を出て、10分ほど歩いて「横網町公園」へ、此処は陸軍被服廠跡地で1923年の関東大震災の時に避難した人達が集まっていたが、火災旋風に襲われ約4万人の人が亡くなったという。震災記念堂（伊藤忠太設計）が造

られていたが、1945年の東京大空襲でさらに大勢の人が犠牲になり、戦後、戦没者も含めて東京都慰霊堂として再整備されている。つい最近天皇后陛下も御参りされている。緑も多くのいろいろな慰霊碑もある公園だった。

公園を出てすぐ隣が「旧安田庭園」で、元備前岡山藩主池田侯より安田財閥安田善次郎氏が所有、その後墨田区に移管された「汐入回遊式庭園」である。かつては隅田川につながり干満に応じて汐の出入りがあったが現在はポンプを使用して干満を再現しているという。こぢんまりしているが池の周りを回遊でき緑も豊富で紅葉も楽しめた（写真参照）。庭園を出て国技館の前を通り5分ほどで両国駅前に来ると目の前に旧両国駅の建物が保存されていて中が江戸風のれん街や休憩所になっている。そこの「ちゃんこ霧島」でランチ懇親会となった。天井の高いゆったりした空間を貸し切りにして、ちゃんこ定食と会話を楽しむことができた。ちゃんこは一人ずつの紙鍋でしたがさすがに本場で美味でした。（文責 中林）



第1回 これからの暮らしを考える会 山田信子

チャンプに新活動会「これからの暮らしを考える会」が生まれました。会員の75%が後期高齢者であるチャンプでは、ご家族と共に暮らしておられる方がある一方、一人暮らしの方も多いのが現状です。そんな中で、これからの生き方、暮らし方についての情報交換、不安、希望等をフランクに話し合う気楽な場を持つ、という趣旨で発足いたしました。

11月14日（金曜日）、その第1回会合が開かれました。場所はJR恵比寿駅に近いJELA集会場。ステンドグラスが美しい落ち着いた部屋で、8名の参加者が楽しい時間を共有しました。（山本儀子、安斉渥子、手島達夫、新堀ちや子、多賀萬朝子、野村一郎、畑京子、山田信子）

第1回とて、まず安斉渥子さんの司会で各々が自己紹介。長いチャンプでの付き合いでも意外と互いを知らないのではと、全員が、いつどこで生まれて・・・と各々のこれまでを披露し合い、そこから「これから」を考えようという趣向です。

8人という少ない参加者でも実に、北は樺太から引き上げられた方、南は門司生まれの方までおられ、その皆が今こうして東京で老いを迎えていることが判明。チャンプの性格上建築の諸

分野に携わった方が多い中、英語を扱ってきた方、物の手作りに拘った方から絵画のプロまで、皆一応の人生を全うして、それでも今同じように老いに向かい合っている、そんな現状が浮かび上がりました。

これからの会の方向として、まずは人生をどう閉じるか、子供の迷惑とならないための閉じ方（今何をせねばならないか、しておいた方がいいか）を具体的に情報交換しよう、という意見に傾きそうになった時、いや、それよりそれまでの時間をいかに有効に、楽しく過ごすかを話し合いたい、という意見が出て、それもそうだ一同納得して、第一回会合を終えたのでした。

会は10時から12時。会合後、すぐ近くのメキシカンレストラン〈LA ESQUINA〉にて簡単なランチを楽しんで、散会いたしました。

第2回は1月28日（水曜日）10時から12時に同じ場所で、ということで、どうやら次回は生活を楽しむための経済？の、これまた大切な、身近な話題になりそうです。多くの方の参加をお待ちしております。

活動会メモ

1. 英語を共に学ぶ会

10月25日に第281回。コーディネーター小林志郎会員、テーマ「極右ポピュリズム・ガザ和平案他」。参加者は9名。

11月22日に第282回を開催、コーディネーターは奥田美代子会員、テーマは「古今和歌集・謎解き百人一首」参加者6名。

・毎月1回ZOOMで開催、詳細はHPを参照。(幹事: 高橋嗣雄)

2. チャンプ・LINEの会

常時自由なトーク交換が行われています。(幹事: 手島達夫)

3. チャンプ散策の会

第7回を11/18(火)に両国駅周辺散策で実施。(本誌参照)。(幹事は5名)

4. コーラスを楽しむ会

12月18日に第45回を新橋生涯学習センターで実施。毎月第2金曜日10:00~12:00に開催。(幹事: 中林由行)

5. 本音の会

11月21日にお茶の水のAフォーラムで第4回を開催。本誌参照。(幹事: 神田 順)

6. ゴルフ愛好会

次回を企画中。(幹事 森田宏次)

7. これからの暮らしを考える会(新活動会)

11/14(金)に第1回を開催しました。(本誌参照)。(幹事: 安斉渥子・山田信子他)

8. 日本をしてみる会(新活動会)

3月に第1回を実施予定。(本誌右欄参照)。(幹事: 木下義雄 山田徹、藤原千恵)

★以下は現在休止中です。

9. スケッチ散策会(関西)

10. 日本文化を語る会

第1回「日本をしてみる会」お楽しみツアーのご案内。

「伊豆高原くオートマタ美術館」訪問と温泉ホテル一泊二日の旅

オートマタとは西洋からくり人形のことで、チャンプ会員野坂征男さんが長年かけて収集したからくり人形が実際に動く貴重な実演も拝見します。100年を超える多数のアンティーク人形が圧巻です。(詳細は同封のオートマタ美術館パンフレットをご覧ください)

日時: 3月23日月曜日~3月24日火曜日

3/23日曜日 9am 東京駅発踊り子1号 11:02伊豆高原駅着、13:00~16:00 野坂オートマタ美術館からくり人形の歴史・説明並びに実演鑑賞 16:00頃に徒歩にてヴィラージュ伊豆高原ホテルへ <https://vl-izu.hvf.jp/> 源泉かけ流し大浴場など完備

19:30~21:00 伊豆美レストランにて会食 鉄板焼きなどライブキッチンのあるビュッフェスタイル

21:00~ 自由行動・希望者は二次会

3/24火曜日 ビュッフェスタイルで朝食 チェックアウトまで自由行動(別途希望者にて観光) 自由解散

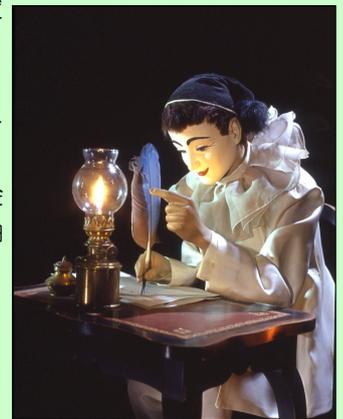
費用: 31,000円/人 1/20時点: 往きの踊り子電車料金並びにオートマタ美術館入館料、ヴィラージュ伊豆高原宿泊代(朝夕2食込み・アルコール飲み放題)が入っています。

参加申込は、幹事 藤原千恵さん socio.chie@gmail.com にメールで: 必ずcc を山田 徹さん

t.yamada424@kntct.com にも送信お願い致します。

皆様のご参加をお待ちしています。申込期限: 3/15(日)

「日本をしてみる会」幹事一同: 藤原千恵、木下義雄、山田 徹



★今後の活動予定

- 1/28(水) 第2回「これからの暮らしを考える会」恵比寿JELAホール
- 3/18(水) 関西チャンプ例会 京都
- 3/23(月)~24(火) 第1回「日本をしてみる会」伊豆オートマタ美術館
- 3月~5月 チャンプ散策の会(詳細未定)

編集後記

新しい年になりました、少し振りの丙午(ひのえつま)ですがこれ以上人口減少にならないように高市内閣に頑張ってもらいたいですね。チャンプもここ数年組織の再構築に向けていろいろな検討や努力を続けてきていますが、今年中には明確な方針を決めなければならぬでしょう。「これからの暮らしの会」「日本をしてみる会」の発足は皆さんの協力の賜物で感謝です。皆さんのご健勝を祈ります。(中林 記)